

(別紙5)

整理番号 2024P-117

補助事業名 2024年度 子どもとその親が幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業

補助事業者名 一般社団法人宗像医師会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

世界で最も研究結果が蓄積され効果に信頼性がある子育てプログラム「トリプルP」を用いた子育て支援事業。宗像市・福津市の保育園、幼稚園の先生に子育てプログラム「トリプルP」ファシリテーター（認定指導者）となっていただき、各園でファシリテーターによる保護者向け子育て講座を開催出来るような状況を整え、家庭と園の子育て環境の向上に寄与する。

(2) 実施内容

①子育て応援シンポジウム

開催日時：2024年5月26日（日）10：00～12：45

開催場所：宗像地域医療センター3F「講堂」

内 容：主として子育て中の市民を対象に、宗像市・福津市の子育て支援の取組み（子ども家庭センター）の紹介、大学教授・講師、幼稚園園長、保育士等5人の子育ての専門家による子育てに関わる講演を行った。講演後に、パネルディスカッション、子育て個別相談会を行った。子育て中の方も参加しやすいように、託児室を設けた。

結 果：参加者：110人 託児子ども18人 個別相談者9人

アンケート結果（アンケート回収数85、回収率77%）より、「とても参考になった」「参考になった」をあわせると91%と満足度が高い結果となった。

初めての市民を対象としたシンポジウムの開催、果たしてどのくらいの参加者が集まるか心配していたが、定員100人を超える参加者に集まっていた。参加者からの感想についても「全て良かった」「全ての先生のお話の中に具体的な説明がありわかりやすかった」「子育て技術をもっと学びたい」「今後もこのような講演をして欲しい」といった声を多数いただいた。



(別紙5)

②トリプルPセミナー

開催日時：2024年9月1日（日）10：00～12：30

開催場所：宗像地域医療センター3F「講堂」

内 容：

セミナー1「前向き子育ての力」

講師：藤田 一郎先生（福岡女学院大学子ども発達学科教授）

セミナー2「自信と能力のある子どもを育てる」

講師：江上 千代美先生（福岡県立大学教授）

セミナー1 では子どもとの良い関係をつくり、発達を促して好ましい行動を増やす具体的な子育て技術を紹介し、セミナー2 では子どもが自信を持ち、学校などでうまくやっていくための6つの核となる要素を紹介した。

結 果：参加者 34 人

アンケート結果（アンケート回収数 34、回収率 100%）より、「とても参考になった」「参考になった」をあわせると91%と満足度が高い結果となった。

定員 40 人のところ、実際の参加者は 34 人だったが、申込時点では、定員を超える 45 人の申込があった。参加者のうち保護者は 22 人（64.7%）、このうち 18 人が保護者を対象としたトリプルPグループワークに「参加を希望する」又は「参加を検討したい」と回答され、③のトリプルPグループワークの開催につながった。



③トリプルPグループワーク

日 程：2024年10月30日、11月6日、13日、20日、27日、12月4日、11日の
9:30～11:30（11月27日、12月4日は個別の電話相談）

開催場所：宗像地域医療センター4階「会議室」

講 師：藤田 一郎先生（福岡女学院大学子ども発達学科教授）

内 容：

第1回：前向きな子育て、子どもの行動のとらえ方を学び、目標を考えます。

第2回：子どもと良好な関係をつくり、発達を促すための10の方法を学びます。

第3回：対処が難しい子どもの行動をうまく扱うための7つの方法を学びます。

第4回：子どもの問題行動が起こらないように備えるための活動を学びます。

(別紙5)

第5回・6回:個別相談

第7回:子どもの行動の好ましい変化について話し合い、復習を行います。

結 果:1~12歳までの子どもがいる保護者7人(定員6人)が受講
グループワーク受講前、受講後にアンケート調査を行った結果、受講者全員が
グループワーク受講により、子育ての振り返りができて、子どもへの関わり方が
少し変化したことが推測できた。



④グループトリプルPファシリテーター養成講座

開催日時:2024年11月2日(土)~4日(月・祝)

開催方法:Zoomシステムによるオンライン講座

トリプルPインターナショナル本部(オーストラリア)から送られるリンクにアクセスして参加する。

講師:香川 葉月(TripleP認定トレーナー)

主催:NPO法人 TripleP Japan

宗像地区から保育園の先生が1名受講、認定試験に合格しグループTripleP認定ファシリテーターの資格を取得した。

NPO法人トリプルPジャパン主催

グループTriple P



ファシリテーター養成講座

■Triple P(Positive Parenting Program「前向き子育てプログラム」)

子どもの行動・感情・発達の問題の予防・改善を目的とした子育て・家庭支援プログラム

子どもの発達や行動について、日常の家庭生活で使える具体的な技術が、前向きな子育ての実践に役立ち、親の自信につながります。30年以上の研究に基づき、国際的に高い評価を得ているプログラムです。豪・米・英・独など世界25ヶ国で使用されており、2006年より日本でも展開が始まっています。

本講座は、12歳までのお子さんをお持ちの保護者を対象とした、グループ形式のワークショップを実施するためファシリテーター養成講座です。3日間で、Triple Pの基本原則から実践方法、グループワークの運営まで幅広く学びます。

■プログラムの概要

	ユニット	内容
1 日 目	1	子どもの行動問題と効果的な介入
	2	グループTriple Pの実施
	3	グループ相談セッション1の導入
	4	グループセッション1のまとめとグループセッション2の導入
2 日 目	5	グループセッション2(続き)
	6	グループセッション3の導入:感情コントロールを促すための計画
	7	計画実施を推進するための行動リハーサル
	8	グループセッション4:リスクの高い状況での子育て計画の統合
3 日 目	9	グループファシリテーション練習
	10	グループ進行上の問題への手引き
	11	親へのフィードバックと電話相談サポートの導入
	12	グループセッション8(プログラムまとめ)、認定試験概要と評価

■認定試験について:

講座受講約4~8週間後に設定される認定試験では4時間ほどお時間を頂き、技能習得のチェックと本プログラムに関するクイズの採点などを行います。これを修了することにより、オーストラリア、クイーンズランド大学が認証する認定ファシリテーターの資格を取得でき、グループTriple P(レベル4)を開催することが可能になります。

2 予想される事業実施効果

- ・「トリプルP」ファシリテーターによる園内への前向き子育てプログラム「トリプルP」の普及啓発。
- ・シンポジウム、セミナー開催による前向き子育てプログラム「トリプルP」の普及啓発。
- ・グループワーク参加による子どもへの関わり方の変化。

3 補助事業に係わる成果物

(1) 補助事業により作成したもの

前向き子育てプログラム「トリプルP」による子育て支援事業
2024年度実施報告書

<https://www.munakata-med.or.jp/pdf/triplep2024.pdf>

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 一般社団法人宗像医師会 (イッパ^ンシヤダ^ンホウジ^ンムナカタイシカイ)

住 所： 〒811-33431宗像市田熊5-5-5

代 表 者： 会長 宮原 道生 (ミヤハラ ミチオ)

担 当 部 署： 宗像医師会事務局

担 当 者 名： 道祖田 厚子 (ドウソデノ アツコ)

電 話 番 号： 0940-36-2453

F A X： 0940-34-2081

E - m a i l： info@munakata-med.or.jp

U R L： <https://munakata-med.or.jp>